

延享2年 万多羅寺村明細帳 (抄)(1745年)

(史料出所：尼崎市『尼崎市史』第5巻pp.761-770)

(原文は縦書きでふりがなもない。ふりがなは倉橋。)

( ... 前略 ... )

- 一 籾種 1反二付 坊主物 6升5合当テ
一 田方苗代作 早稲・中稲・晩稲共八十八夜前日二池より揚ケ、八十八夜翌日
一 稲名 坊主北国 毛北国 善助 順礼坊 関東
一 畑方 木綿 大豆 小豆 粟
一 畑方種物 1反二付
木綿実 1貫600目
大麦 1斗3升
小麦 7升
大豆 1斗
小豆 1斗5升
粟 3升 4升

寛延2年 下坂部村明細帳 (抄)(1749年)

(史料出所：尼崎市『尼崎市史』第5巻pp.772-775)

(原文は縦書きでふりがなもない。ふりがなは倉橋。)

- 一 521石6斗5升5合 村惣高
( ... 略 ... )
一 男八耕作之間二は縄ヲなひ 筵 を打申候
一 女八耕作ノ間二は木綿布を織申候
( ... 略 ... )
一 男奉公人給銀 150 匁位より 200 匁迄二御座候
一 女奉公人給銀 50 匁位より 80 匁迄二御座候
一 田畑肥之義 八1反二付干鰯代銀 40 匁位より 50 匁迄仕候
一 綿作之義 八1反二付 60 匁位より 80 匁位迄肥仕候
一 田方籾種之義 八1反二付 5升宛二まき申候
一 村方百姓一統ニケ崎御城下え人力にて下屎日々取二さんじ申候、但シ道法 1里余 御座候
( ... 後略 ... )

参考資料

尼崎城下の下屎くみ取りをしていた尼崎市内の村(享保のころ)

- 神崎 西川 今福 杭瀬 梶ガ島 中長洲 西長洲 東長洲
大物 東難波 西難波 竹谷新田 別所 塚口 東富松
西富松 尾浜 上之島 栗山 大西 三反田 時友 武庫庄
今北 浜田 東大島 西大島 東新田 西新田 道意新田

当時の下屎くみ取りの価格(「屎の間屋」が支払った代金)

城下東町の7軒分の1年間の下屎代 = 米3石

(尼崎市『尼崎市史』第2巻p.572より)

伊丹の町の下屎のくみ取りをしていた尼崎市内の村(幕末期)

- 田能 穴太 法界寺 猪名寺 中食満 下食満 清水 瓦宮
万多羅寺 若王寺 (尼崎市『尼崎市史』第2巻p.573より)